

としょがんだより

庄内町立図書館
2021年 8月発行

No.14

開館時間

平日 9時～19時
土日 9時～17時

休館日（本館）

月曜・祝日（平日のみ）
年末年始・蔵書点検期間



注目の新刊



『氷柱の声』

くどう れいん／著

語れないと思っていたこと、言葉にできなかったこと。東日本大震災が起きたとき盛岡の高校生だった伊智花の、それからの10年の時間をたどり、人びとの経験や思いを語る声を紡ぐ、著者初の小説。芥川賞候補作（講談社）



『はじめてママ&パパの子どもの栄養 3～14歳、成長期に必要な栄養のとり方がよくわかる!』

深津 章子／監修, 牧野 直子／監修

主婦の友社／編

成長期に必要な食事量と栄養のポイントを、幼児から小・中学生まで年齢別に解説。子どもの食と栄養の基本、気になる症状&悩みリセットレシピも収録。（主婦の友社）



『ごみ収集とまちづくり』

清掃の現場から考える地方自治』

藤井 誠一郎／著

新型コロナ対策、大量廃棄、災害対策、労働差別…。清掃現場の労働体験と参与観察を通して、現場で活躍している人々や清掃行政、清掃差別の実態を活写。（朝日新聞出版）



★ 小説現代長編新人賞奨励賞受賞作 ★

『怪槁の雪』 仲村 燈／著

文化6年、九世名人・将棋所大橋宗英がこの世を去った。以降、落ち目へと傾いてゆく将棋家を憂いた大橋分家の七代目当主・宗与は、若手筆頭の実力者・英俊を養子に迎え…。江戸の棋士たちの姿を描いた将棋時代小説。（講談社）



今年もやります！文学講座！

『庄内町の不思議と怪異』
講師：作家 黒木あるじ氏

※ 感染拡大状況によっては内容の変更・中止となる場合があります。



お気軽に
お申込み
ください！

怪談作家の黒木あるじさんをお招きし、文学講座を行います。

庄内町に伝わる不思議な話を中心に、東北の怪談を紹介します。

そこから地域に根差した文化や信仰を、参加者の皆さんとともに考えていきます。

■ 日時：9月25日(土) 13:30～15:30

■ 会場：庄内町文化創造館「響ホール」

■ 定員：20名 ■ 参加料：無料

■ 申し込み方法：図書館カウンターまたは電話受付

■ 申し込み期限：9月21日(火)

本館・分館

点検業務のため
休館します

9月27日(月)～10月4日(月)

上記期間、館内点検業務のため休館となります。

ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒ご了承ください。

※ 分館は4日から開館します。

日	月	火	水	木	金	土
9月						
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

日	月	火	水	木	金	土
10月						
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24 /31	25	26	27	28	29	30

■ = 本館休館日

■ = 分館休館日

○ = 祝日

マークのご案内

分館所蔵

予約がおすすめ

受賞作

赤ちゃんOK

しかけ絵本

エッセイ等